

未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く翁中生！

翁頭中学校だより
12月15日 第14号
文責 校長 山下



12月7日(木)、樋口委員長をはじめ実行委員の皆さんの運営のもと人権集会が行われました。今年も、五島市役所保健健康政策課の山口香寿美さんを講師にお招きし、「カネミ油症問題」についての講話を行いました。「カネミ油症問題」について知っている人？」との問いかけに、約3分の1ほどの挙手。ほとんどの生徒がこの問題についてあまり知らないことに驚かされました。また、各学年からの人権学習についての発表、人権作文コンテストでNCC長崎文化放送賞を受賞した餌網代祥子さんの作文発表もあり、充実した人権集会となりました。



人権とは、一言で言うと、「人が幸せに生きる権利」のことで、自由平等の権利であり、人間が最も大切にしなければならぬ権利です。しかし、最近の社会情勢を見ると、人権侵害がかなり起こっています。身近なところでは、「いじめ問題、児童・高齢者への虐待、SNS上での誹謗中傷、カネミ油症患者への差別」など。私が、ここ数年ずっと気になっているのは、日頃使っていることばです。例えば、「くせに、汚い、病気がうつる、さわるな、ばか、しね・・・」など、何気なく使っていることばで人を傷つけていることばはないでしょうか。

人権について考える

私からは、金子みすゞさんの「ことばでしようか」という詩を紹介し、ことばの大切さについて話をしました。
「大人も子どもも、誰でもことばと同じように、『温かい言葉』をかけられると、不思議と相手に温かい気持ちをもち、『温かい言葉』をかけ返したくなる。逆に、『冷たい言葉』をかけられると、なぜか魔法にかけられたように相手に『冷たい言葉』をかけ返してしまふ。」
ことばは不思議な力をもっています。ことばに関する感性を磨き、素敵なことばがあらわゆる翁中(うんちゅう)についてきましよう。

「ことばでしようか」 金子みすゞ

「遊ぼう遊ぼう遊ぼう」
「遊ぼう遊ぼう遊ぼう」
「馬鹿な遊ぼう遊ぼう」
「馬鹿な遊ぼう遊ぼう」
「もう遊ばない遊ぼう遊ぼう」
「遊ばない遊ぼう遊ぼう」
「遊ぼう遊ぼう遊ぼう」
「遊ぼう遊ぼう遊ぼう」
「遊ぼう遊ぼう遊ぼう」
「遊ぼう遊ぼう遊ぼう」

翁頭山へ 記念植樹

12月4日、3年生が翁頭山へ登り、紅葉の記念植樹を行いました。これは、大浜地区まちづくり協議会の皆様の御協力で毎年実施されている行事です。中には、初めて翁頭山へ登ったという生徒もおり、山頂からの故郷翁頭の景色に感動していました。県振興局や市農林課の方からも、植林に関する講話もしていただきました。今後、同級生での登山が継続してほしいと思います。お世話になった皆様に感謝申し上げます。



やったぞ！ ロボコン全国大会へ

12月19・20日、福岡市でロボコン九州大会が行われ、長崎県代表として出場した「がんばレベッカ」チーム(出口健誠・樋口和輝)は、見事準優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。

要因は、大会に臨むにあたっての準備と練習を周到に行ったことに尽きます。彼らは、どんなトラブルにも対処し、どのような状況になっても対応できる準備と練習を何百回(何千回?)も行っていました。それが、この結果につながったと思います。全国大会へ向けても、期待しています。頑張り！「がんばレベッカ」



12月

16日	English ｽﾍﾞｰﾁｺﾝﾃｽﾄ
18日	生徒会の日
19日	生徒集会
20日	生徒会引継式 1年数学ｺﾝﾃｽﾄ
21日	伝達表彰 2・3年数学ｺﾝﾃｽﾄ
22日	大掃除・終業式
23日~1月8日	冬休み

各種大会や表彰から

- JA共催小・中学生書道ｺﾝｸｰﾙ
- 条幅の部優秀賞 島山奈々
- 半紙の部佳作 島山奈々
- 私の「夢・憧れ・志」作文ｺﾝｸｰﾙ
- 入選 餌網代祥子
- 中学生税の作文
- 福江税務署長賞 有川草汰
- 福江青色申告会長賞 山口悠
- 全国中学生人権作文ｺﾝﾃｽﾄ長崎県大会
- 優秀賞 萩里瑠比
- ロボットｺﾝﾃｽﾄ九州地区中学生大会
- 基礎部門2位 「がんばレベッカ」
- 出口健誠・樋口和輝(全国大会出場)
- 市ソフトテニス秋季選手権大会
- ジュニアの部3位 松本湊・道下哲司 戸田紗芳子・平山渥子

【年末年始の過ごし方】

日本独特の文化とも言える年末年始の行事がある。「大掃除、除夜の鐘、初詣、お年玉、おせち、門松、しめ飾り、鏡餅、福袋、七草粥・・・」
日本人には、お正月に新年の抱負を決める習慣がある。心で思っただけでなく、紙に書くという「書き初め」もその一つだ。この年末年始、家族の一員として役割を果たすとともに、正月には、抱負を「書き初め」し、見えるところに掲示しておくというのがよい。